TOSTEM
トステム株式会社

# NCV ゼファー 電動ガラスルーバー窓 エアリン 組立て説明書

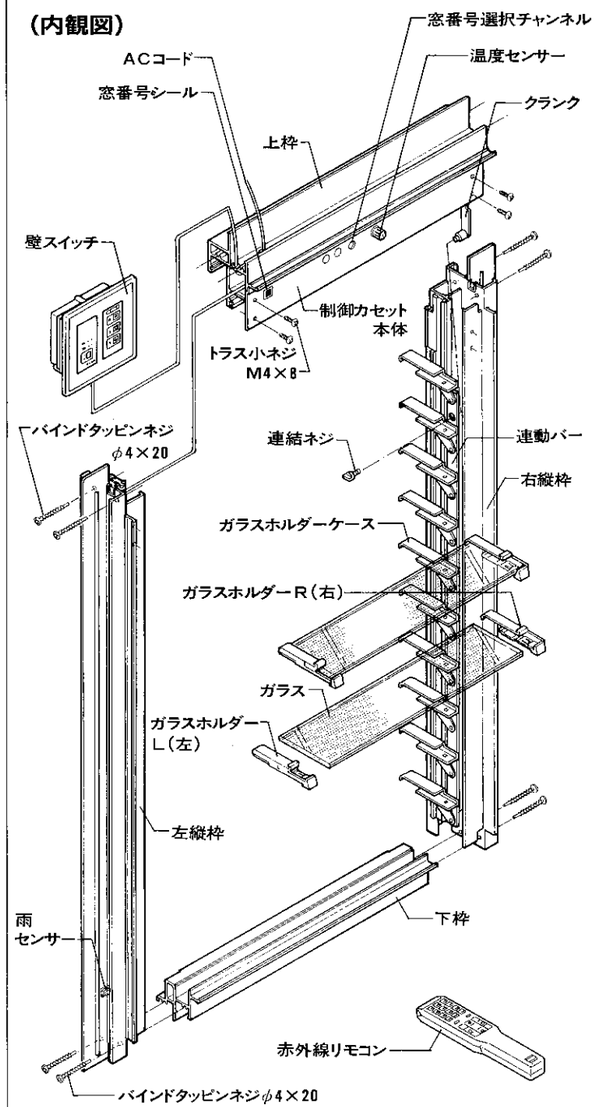
MAAS-094A
3エ-920512.(4).(メ)

## ■お願い

- 組立ての際、コード類をアルミ部材やネジ等ではさみ込まないようご注意ください。
- 窓には電子部品が組み込まれていますので、雨などに濡れないよう取扱いにご注意ください。

## ■各部名称図

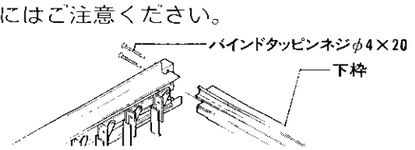
（内観図）




## ■組立て順序

### 1 縦枠と下枠の組立て

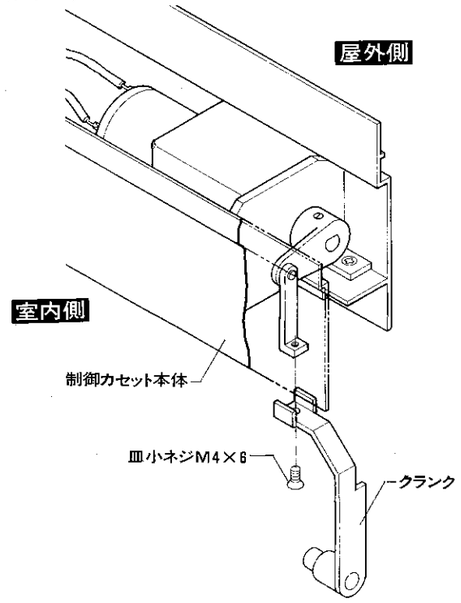
※ガラスホルダーケースは、スプリングがきいていますので取扱いにはご注意ください。




## ■組立て詳細図

### 2 クランクの取付け

（図-1）




### 3 コネクターの接続

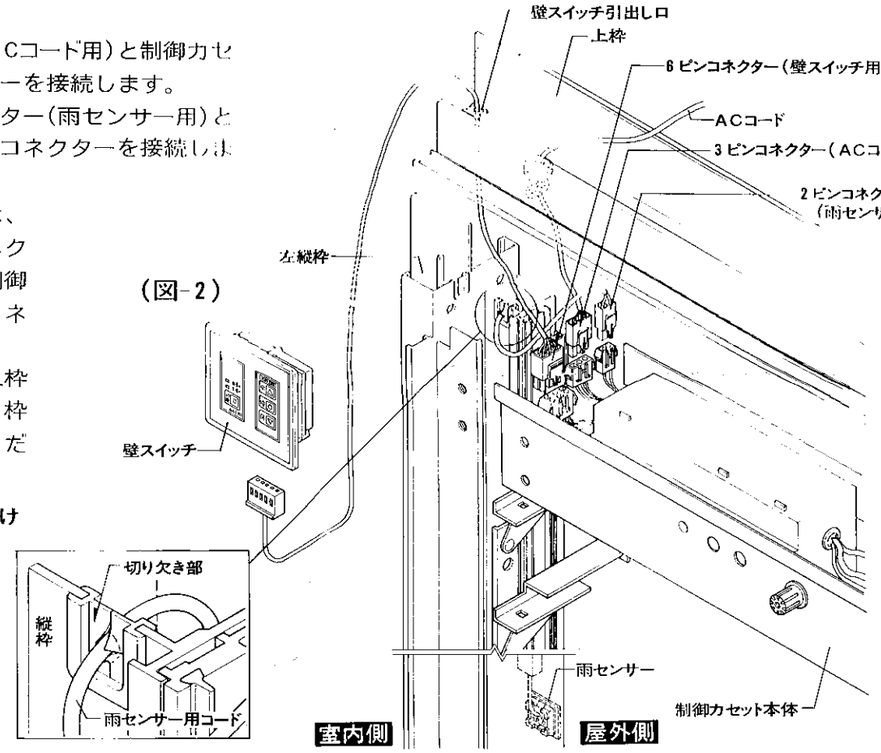
1. 上枠の3ピンコネクター（ACコード用）と制御カセット本体の3ピンコネクターを接続します。
2. 左縦枠上部の2ピンコネクター（雨センサー用）と制御カセット本体の2ピンコネクターを接続します。

※1. 壁スイッチ仕様の場合は、壁スイッチの6ピンコネクター（壁スイッチ用）と制御カセット本体の6ピンコネクターを接続します。

※2. 壁スイッチコードは、上枠の壁スイッチ引出口より枠外へ引き出しておいてください。

**※1.※2…… 赤外線リモコンだけで使う場合は必要ありません。**

（図-2）

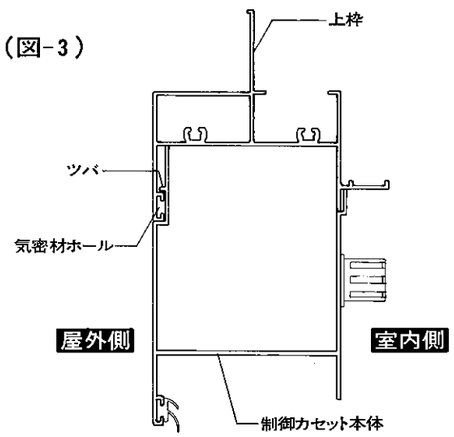



**雨センサー用コードは、必ず縦枠の切欠き部を通してください。**

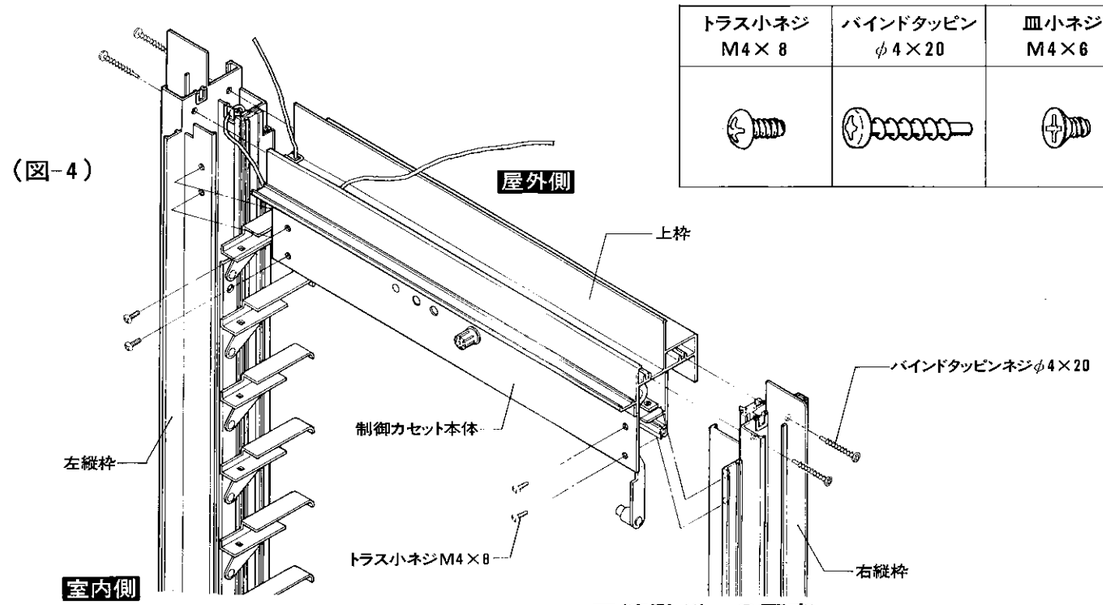
### 4 上枠と縦枠、制御カセット本体と縦枠の組立て

1. 制御カセット本体の屋外側のツバを上枠の気密材ホールに引っかけます。（図-3）
2. 上枠と制御カセット本体を一体にしたものを縦枠と固定します。（図-4）

（図-3）




（図-4）




●使用ネジ一覧表

| トラス小ネジ M4×8 | バインドタッピン φ4×20 | 皿小ネジ M4×6 |
|---|---|---|
|  |  |  |

### 5 ガラスの取付け

**1. ガラスホルダーの取付け**

- ガラスの左右両端にガラスホルダーを差し込みます。

※型板ガラスの場合模様面が下になるようホルダーをセットしてください。

（図-5）




**2. ガラスホルダーケースへのガラスの取付け**

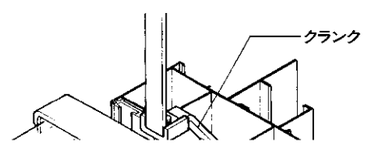
※ホルダーの突起部とホルダーケースの穴がかみ合っているか手で引いて確認してください。

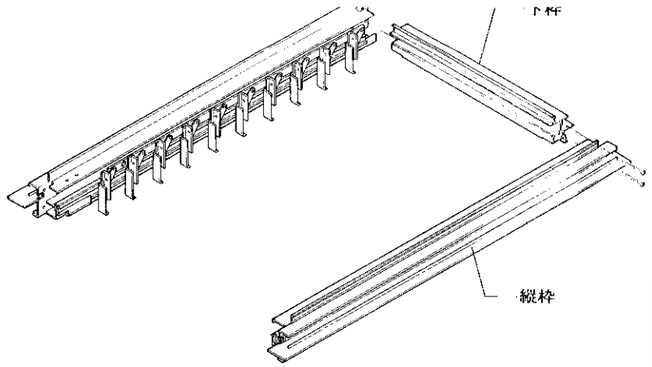
- ガラスが抜ける時は、ガラスホルダーを強く押し込んでください。（A部詳細図参照）

### 6 連動バーの固定

クランクと連動バーを連結ネジで固定します。

（図-7）



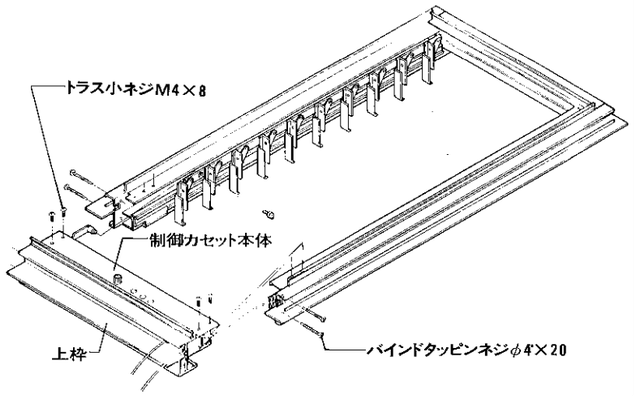



## 2 クランクの取付け（図-1参照）

1. 制御カセット本体にクランクを取り付けます。

## 3 コネクターの接続（図-2参照）

## 4 上枠と縦枠、カセット本体と縦枠の組立て（図-3,4参照）

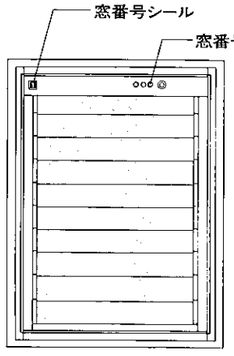



## 5 ガラスの取付け（図-5,6参照）

## 6 連動バーの固定（図-7参照）

## 7 窓番号の設定（赤外線リモコン使用の場合）（図-8参照）

1. 制御カセット本体の窓番号を設定します。
2. 窓番号シールを制御カセット本体に張ります。

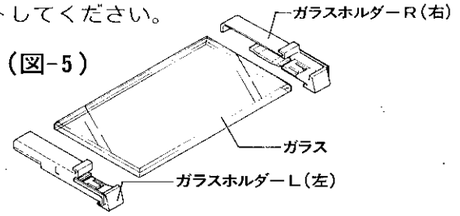



（内観図）

## 8 作動の確認（図-9～12参照）

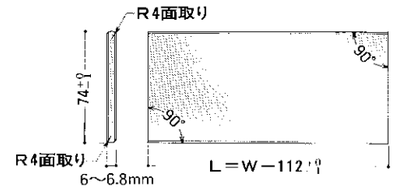
をセットしてください。

（図-5）




### ■ルーバー部のガラスを別途用意する場合、下記の寸法で切断してください。

● 特注サイズの場合、下記の寸法で切断してください。




※ Wはサッシ基本寸法を代入します。
基本寸法の採り方は、カタログ又は取付け説明書の納まり図をご覧ください。

● 規格サイズの場合、下表を参考にしてください。

| H ＼ W | 1.5尺 | 2.0尺 | 3.0尺 |
|---|---|---|---|
| 2.0尺 | 74×293（ 8） | 74×488（ 8） | 74×673（ 8） |
| 2.5尺 | 74×293（10） | 74×488（10） | 74×673（10） |
| 3.0尺 | 74×293（13） | 74×488（13） | 74×673（13） |
| 4.0尺 | 74×293（17） | 74×488（17） | —— |

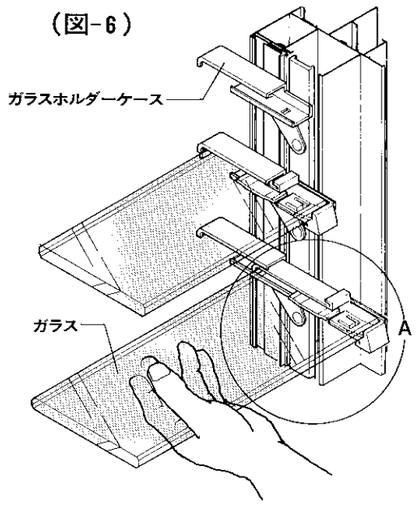
※（ ）内は、ガラス使用枚数。

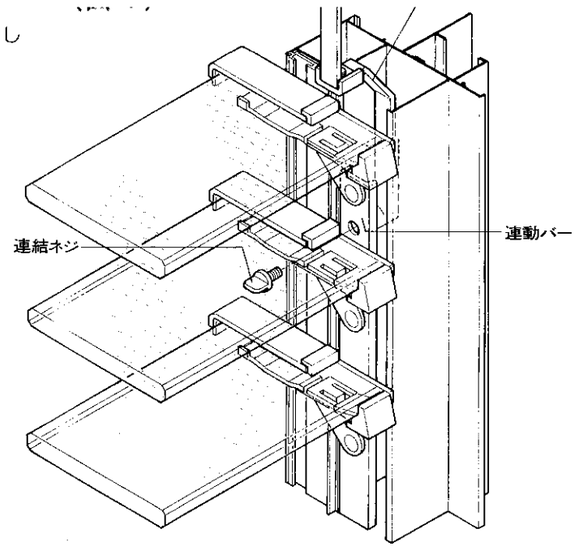
※ガラスは正確に切断してください。誤差があると開閉が重くなったり、ガラスの合わせ面にすき間が生じます。

※ガラス厚は6mm又は6.8mmを使用してください。

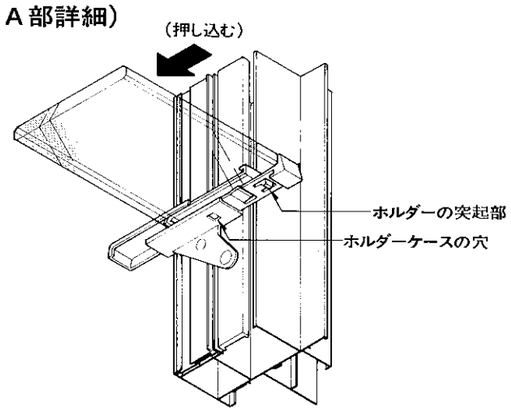
● ガラスが抜ける時は、ガラスホルダーを強く押し込んでください。（A部詳細図参照）

（図-6）




（A部詳細）

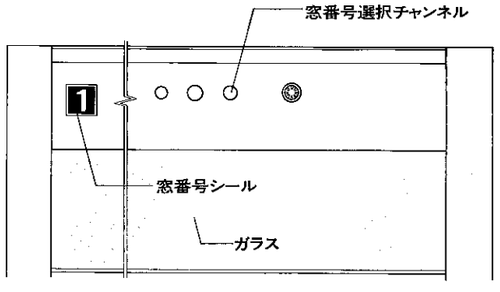



## 7 窓番号の設定

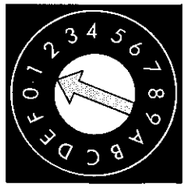
● 制御カセット本体のチャンネル部分にマイナスドライバーを差し込み、指定したい窓番号に➡を合わせます。
次に取扱い説明書に同梱の窓番号シールを張ります。

※出荷時は1番に設定してあります。

（図-8）




1～Cまでのご希望のナンバーに中央ダイヤルの➡矢印をセットしてください。
注）アルファベットA～Cは、10～12を意味します。
又、DEFOは使用出来ません。




（チャンネル部詳細）

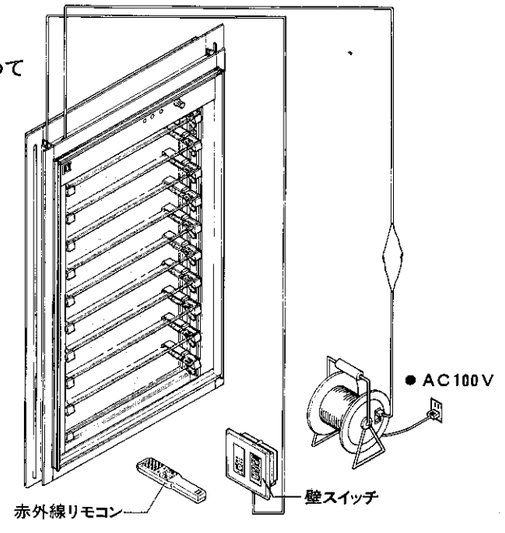
## 8 作動の確認

● 組立て後、仮配線をして、作動の確認をしてください。
作動は、赤外線リモコンでも壁スイッチでもOKです。

※作動方法詳細は、裏面をご覧ください。

〔お願い〕…取付け現場へは、ルーバーを必ず閉めて搬入してください。

（図-9）



## ■ 作動方法詳細

**【壁スイッチの場合】**

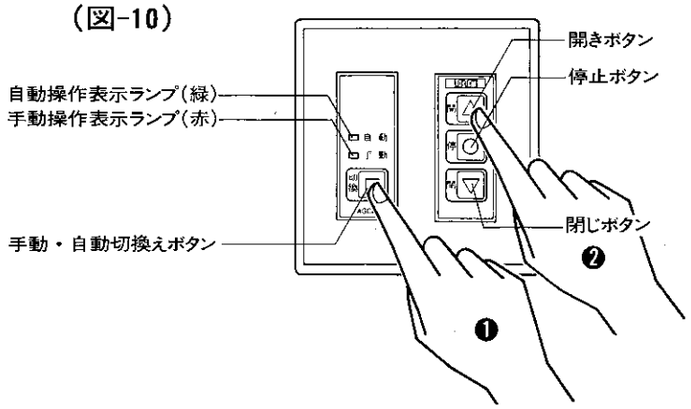
❶切換えボタンを押し、手動にします。(手動操作表示ランプと制御カセット本体の表示ランプが赤く点灯します。)

❷開又は閉ボタンを押すとガラスルーバーが作動します。

※停止ボタンを押すとガラスルーバーはその位置で止まります。

**●壁スイッチの操作**

(図-10)




**【赤外線リモコンの場合】**

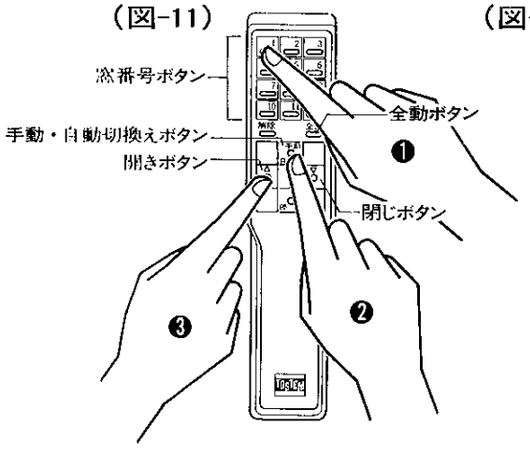
❶窓番号(上枠に張ってあるシールNo.)又は全動ボタンを押します。

❷手動・自動切換えボタンを押します。(手動になると制御カセット本体の表示ランプが赤く点灯します。)

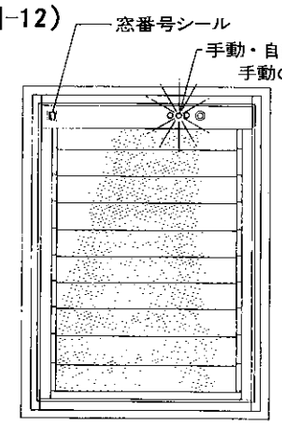
❸開又は閉ボタンを押すとガラスルーバーが作動します。

**●赤外線リモコンの操作**

(図-11)




(図-12)




### オプションの温度センサーを使用する場合

制御カセット本体に取り付いている温度センサーを引き出し、コネクターを外して、オプションの温度センサーと取り換えてください。

